

令和５年度 台東区立柏葉中学校 授業改善推進プラン

教科	学年	生徒の状況及び実態を踏まえた課題	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	一年	○要点を捉えて、文章を的確に読み取ること。 ○自分の思いや考えを明確にして、文章にまとめること。 ○漢字を正しく読んだり書いたりすること。	○文章を正しく読み取る力 ○自分の思いや考えを表現する力 ○日常生活や作文において漢字を使う力	○長文読解に取り組むときのポイント（段落相互の関係やキーワードを捉えるなど）を繰り返し指導する。 ○短い時間内で自分の考えを書く学習を設定する。 ○普段から積極的に漢字を使用し、定着させる。
	二年	○要点を捉えて、文学的文章や説明的文章を正しく読み取ること。 ○学習内容と日常生活の関連を図り、根拠を明確にして自分の意見を表現すること。 ○漢字を正しく読み書きし、語彙を増やすこと。	○文章を正しく読み取る力 ○自分の考えが伝わる文章にする力 ○抽象的な概念を表す語句を増やすとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義語などの理解を深める力 ○主体的に語彙を豊かにする力	○文章に書かれている内容を原因と結果、意見と根拠などの関係に着目しながら、ノート等に内容をまとめる技能を身に付けさせる。 ○比喩表現の技法を理解させる。 ○漢字の学習や文法などの言語事項の単元では、繰り返し練習し、身に付けさせる。 ○読み手の立場に立って、表記や語句の用法等を確認しながら文章を書き、豊かな言語感覚を身に付けさせる。
	三年	○読み取った情報から自分の考えをもち、それを相手にわかりやすく伝えること。	○具体と抽象など情報と情報の関係について理解する力 ○情報の信頼性の確かめ方を理解し、使う力 ○表現の仕方を考えたり、資料を適切に引用したりし、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する力	○情報の信頼性を十分吟味し、情報の根拠を確認める力をつけるために、様々な文章について批評したり、多様な考えを読み比べたりする機会を増やす。 ○文章を書くだけではなく、「相手に伝える」ことを考え、読み手の立場になって書くように助言する。また、互いに読み合い、評価し合うことで、自身の文章の改善点を見いださせる。
社会	一年	○社会的事象の地理的、歴史的の意味や意義を理解すること。 ○主体的に学習に取り組むこと。	○基礎的・基本的な社会的事象を理解する力 ○地図、グラフ、資料等から情報を効果的に収集する力 ○課題を捉え、自分の考えを表現する力	○計画的に単元テストを実施しながら、社会的事象の地理的、歴史的の意味や意義の理解を確実に定着させる。 ○社会的事象について、相手に分かりやすく説明するために、効果的に情報する収集する方法や説明する工夫を互いに考察させる。
	二年	○社会的事象の特色や相互の関連を理解すること。 ○社会的事象の地理的、歴史的の意味や意義を活用し、課題の解決に向けて、選択・判断すること。	○地理的、歴史的な意味や意義を捉え、それぞれの条件を関連させながら見る力 ○資料から正確に情報を読みとる力 ○課題を捉え、自分の考えを表現する力	○単元ごとに小テストを実施しながら、地理的、歴史的条件を関連させ、意味や意義を捉えさせる。また、地理的分野、歴史的な分野にまたがり、幅広く活用できるよう定着させる。 ○身近な社会的事象と関連させることで、興味・関心を高め、主体的に学習に取り組む態度を育む。
	三年	○調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付けること。 ○根拠を明確にししながら、自分の考察した内容をわかりやすく説明すること。	○社会的事象の意味や意義をそれぞれ関連させながら理解する力 ○資料等を読み取り、分析し、自分の考えを相手に分かりやすく伝わるよう表現する力 ○見通しをもって、主体的に学習に取り組む力	○小單元ごとのふり返りを増やししながら、地理的分野及び歴史的な分野の基礎を定着させ、公民的分野の学習につながる学習を展開させる。 ○課題を追究したり、意見交換したりするなどの学習を多く取り入れ、様々な見解に触れさせるとともに、自分の考えをまとめさせる。 ○ＩＣＴ機器を活用し、主体的に調べ、分かろうとして学習に取り組むことができるよう資料を扱う。
数学	一年	○正の数・負の数の四則計算や方程式などの計算をはじめとした基礎的・基本的な知識及び技能に関すること。 ○主体的に学習に取り組むこと。	○四則計算、小数や分数、割合などを理解し、活用する力 ○事象を数学的に表現・処理する力 ○学習内容に関連する項目や他の考え方のよさを主体的に判断し、選択する力	○習熟度別コースごとの学習状況に合わせながら、プリント等の教材の内容を工夫し、基礎的・基本的な知識及び技能を定着させる。 ○事象を数学的な表現を用いて、簡潔・明瞭・的確に処理することができるよう取り組ませる。 ○ノートやプリントを活用し、学習内容に関連する項目や他の考え方のよさを意図的に記入できるよう工夫する。
	二年	○文字を用いた式や方程式などの計算をはじめとした知識及び技能に関すること。 ○主体的に学習に取り組むこと。	○文字を用いる必要性和意味を理解し、活用する力 ○事象を数学的に表現したり、表現されたものを読み取ったりする力 ○数学を活用して問題解決を図ろうとする力	○授業内で前学年の内容まで立ち戻って学び直しの機会を多く設定する。 ○習熟度別コースごとの学習状況に応じたプリントを作成し、発展的な指導も行う。 ○領域に応じてＩＣＴ機器を効果的に活用し、問題解決の糸口や方法を例示する。
	三年	○既習事項の定着に関すること。 ○数学を学習することの意義や数学の必要性を実感すること。	○単項式や多項式、方程式などの計算をはじめとした数学的な処理を確実に行うことができる力 ○根拠となることがらを明確にし、数学的な表現を用いて論理的に説明する力。 ○数学を活用して問題解決を図ろうとする力	○習熟度別コースを弾力的に編成し、習熟の程度にあわせながらきめ細かな指導を行い、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着させる。 ○数学的な表現を用いて「説明し、伝え合う活動」を充実させる。 ○筋道を立てて論理的に考え、それを整理し、よりよく問題解決しようとする態度を育む。

令和５年度 台東区立柏葉中学校 授業改善推進プラン

教科	学年	生徒の状況及び実態を踏まえた課題	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
理科	一年	○基本的な概念や原理、法則を理解すること。 ○規則性や関係性を見いだし、表現し、科学的に探究させること。	○自然の事物・現象について理解し、活用する力 ○実験など体験的な学習を通して、規則性や関係性を見いだし、表現する力 ○目標をもって実験、観察に取り組み、課題解決に主体的に取り組む力	○観察、実験などに関する技能を身に付けさせるとともに、実験結果を分析、解釈させる。 ○１人１台端末を活用し、主体的に学習の見通しを立てたり、学習にしたことを振り返ったりする活動を取り入れる。
	二年	○基本的な概念や原理、法則を理解すること。 ○自然の事象・現象に進んで関わり、主体的に学習に取り組むこと。	○自然の事物・現象について理解し、活用する力 ○観察、実験で得た知識を活用して、考察する力 ○目標をもって実験・観察に取り組み、課題解決に主体的に取り組む力	○実態に応じて、十分な観察、実験の時間を設定する。 ○得られた知識を確実に定着させ、課題解決のために探究する学習を設定ける。 ○１人１台端末を活用し、主体的に学習の見通しを立てたり、学習にしたことを振り返ったりする活動を取り入れる。
	三年	○基本的な概念や原理、法則を理解すること。 ○科学的に探究しながら、多様性に気付くとともに規則性を見いだし、主体的に解決しようとする事。	○自然の事物・現象について理解し、活用する力 ○観察、実験で得た知識を活用して、考察する力 ○多面的に物事を捉え、考える力	○実態に応じて、十分な観察、実験の時間を設ける。 ○観察、実験の結果を分析し、解釈する学習活動を多く取り入れる。 ○科学的な概念を使用して考えたり、説明したりし、伝え合う活動を多く取り入れる。
英語	一年	○文構造の理解や英作文に必要な語彙力に関する事。	○基本的な言語を活用する力 ○自分の気持ちや考えを表現するために必要な語彙力	○簡単な文構造の反復練習を行い、自然に発話できる力を Q&A 形式のやり取りで行う。基礎から応用につなげるため、自分自身の気持ちや考えを付け足すような活動に発展させる。 ○単語を書くだけでなく、発音とスペルを言う活動を行い、発音と綴りの基本的な対応関係を関連付けながら語彙力を伸ばす。 ○少人数授業を生かし、関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて話すことができるよう一人一人の発話時間を確保する。
	二年	○英文の構造を理解し、正しい語法と語順で書く事。 ○長文の内容を理解し、読みとること。	○文章の構成を理解し、適切な単語を使い適切に書く力 ○まとまった文章に取り組み、情報を読みとる力	○帯活動でゲーム形式等を取り入れ、音声や表現等を理解しながら基礎的な語彙力を継続して向上させる。 ○少人数授業を生かし、新出文法等を使って文を構成させて話したり書いたりする学習活動を繰り返し実施する。 ○比較的長い文章においても、日常的な話題を用いるなど興味・関心をもたせ、書かれてある内容や考えを主体的に捉えようとする態度を育む。
	三年	○英文の構造を理解し、正しい語順で書く事。 ○自分の考えや意見を表現すること。	○文章の構成を理解し、適切な単語を使い、適切に書く力 ○自分の考えや意見をまとめ、適切に表現する力	○定期的な単語・熟語の小テストやスペリングコンテストを実施しながら、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着させる。 ○３文程度の文で客観的に物事を説明させる練習を帯活動で行っていく。 ○少人数授業を生かし、身近な話題や社会的に関心の高い話題について自分の考えや気持ちなどを互いに表現する。また、A L Tを活用しながら自己の表現について振り返る時間を確保することで、より効果的な表現を身に付けさせ、言語活動の質を高める。